

# ひろば大代

NO.405

大代まちづくり  
センター

H25.4.23

## 大代まちづくり

### センター長に就任して

センター長 佐藤哲朗



畑前センター長の辞任にあたり、センター長を引き受ける事となりました。大代町を取り巻く環境は、少子高齢・過疎化が進行し六十五歳以上の人口比率が五十%を超え事実上限界集落となつていきます。そうした中で大江高山や高山そば道場へ町外から訪れる人（交流人口）が年間五千人を超え、他町にない魅力が大代町にはあります。過疎対策に特効薬は見つかりません。大代町の特徴を生かし交流人口を増やし活力のあるまちづくりが必要だと思います。皆さんの要望を伺いながら地域に根付いた活動を地道に行います。

まちセンを、情報交換の場とし、また地域の皆さんの活動拠点として気軽に訪ねてください。

紙面をお借りして、大代高山会から『平成二十五年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰』の受賞報告をさせて戴きます。

環境省では、自然環境の保全に関し、顕著な功績があった者（又は団体）を表彰し、これを讃えるとともに、自然環境の保全について国民の認識を深めることを目的に、平成十一年度から毎年度、『「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰』が行われています。

平成二十五年度、保全活動部門（個人・団体十六件）に大代高山会が「イズモコバイモの保護を目的とした自生地における草刈り、ギフチョウの保護、ホームページ等を活用した自然保護思想の普及啓発など、自然環境の保全及び普及啓発活動」が認められ、四月二十三日（火）午後二時から新宿御苑にて石原伸晃環境大臣から表彰を受けました。

授賞式は私と木村前会長の二名が参加し、六時から島根イン青山で東京石

見高山会の役員の皆さんに受賞を祝って頂きました。このような名誉ある賞が受賞出来たことは先輩諸氏、関連団体の皆様のお陰だと、心から感謝申し上げます。本当に、ありがとうございます。

これからも大代高山会の活動への理解と支援への御協力を、宜しくお願い致します。

## まちづくり

### センター長を退任して

前センター長 畑

誠



四月に入り新しい年度が始まりました。高山の里も一気に春めいて参りましたが、皆さま如何お過ごしですか。

この度、三月末をもちまして、センター長を退任いたしました。この二年間、町民の皆さまには、様々なご支援、ご協力を頂き感謝申し上げます。

この在任中、特に大代小学校の閉校事業に関われたことは、私にとって公私をこえて、かけがえのない思い出の一ページとなりました。

これまで何気なく捉えていた小学校の

存在も無くなった現実で、改めて愛着の深さに戸惑い、悲しみが湧いてきました。時代の変遷とはいえ、いつまでも心の中に小学校の思い出を大切に綴っておきたいと考えております。

ますます過疎、高齢化が進む中、旧小学校の跡利用を始め様々な活性化への課題も浮かび上がっています。これからは、一住民として少しでも地域に貢献したいと考えています。本当に有難うございました。

## 入学おめでとう！

### ピカピカの一年生

平 井谷恵美



わが家の末っ子、洗太がこのたび無事に幼稚園を卒園し、高山小学校へ入学する事ができました。

長女が幼稚園に入ってから12年間、保護者としてお手伝いさせて頂きました。過ぎてみれば、あっという間でした。今度は、小学校がもう6年間続くと思うと、ため息が出てしまいますが、子供が楽しく学校へ行ける様にしてい

きたいと思っています。

洗太は、ピカピカのランドセルを背負って、毎朝、お兄ちゃんと2人で通学バスに乗って学校へ通っています。

幼稚園を卒園した時は、「幼稚園の方がいいなあ」と言っていたのがいざ小学校へ通いだすと「小学校は楽しいなあ」と言う様になりました。

同級生や上級生のお兄さん、お姉さん達と「仲良くしてもらっているんだなあ」と少し安心しました。お兄ちゃんが小学校にいるのも心強い一つとなっていると思います。

小学校では、初めての事ばかりだと思いますが、いろんな事にチャレンジして、吸収して行って欲しいです。

大代町の皆様、これからも温かく見守ってやって下さい。よろしくお願ひします。

## 入学して

四日市 竹島 修



早いもので下の娘の世麗奈が小学校一年生になりました。ついこの前、幼

稚園に入ったと思っていました。ピカのランドセルにちよっと大き目の制服、何処から見ても一年生です。

入学式では、かなり緊張していましたが堂々としたわが子を見て胸が熱くなる思いでした。小学校では、たくさんの友達を作って、たくさん遊んで、ちよっぴり勉強もして元気で楽しく過ごしてもらいたいです。

ここまで親だけで大きく育てたわけではありません。地域の皆さんに見守られて来たことに感謝感謝です。これからもよろしくお願ひします。

我が家では、上のお姉さんも高校入学と二人そろって自分の未来にむかって歩き出しました。お父さんは、もうしばらく頑張らないといけないのだ。よし頑張るぞー。

## 春の高山登山

### たくさん

### 春の女神(ギフチョウ)

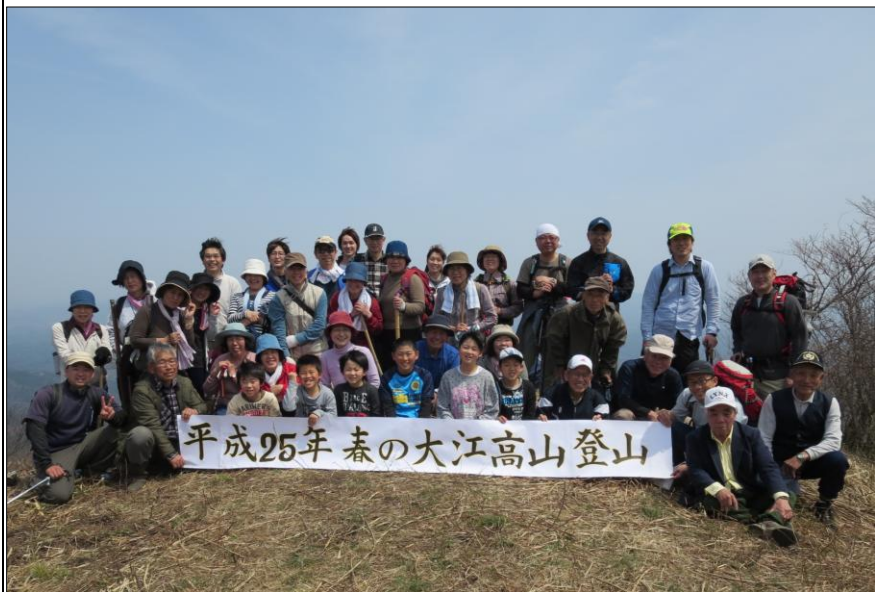
### に出会って



当日は朝から最高のお天気、滋賀県を始めとして兵庫県・鳥取県・広島県・

島根県内からの参加者が、山田登山口から約60名、飯谷登山口からは10名で9時から登山開始しました。

途中何種類かのスミレやイカリソウの花を楽しみながら登ってすぐ、突然ギフチョウが現われ、みんな写真を撮ろうと必死です。次々に現れるギフチョウに全員がそれぞれに撮影に成功！「見て見て！撮れたよ！」と映像に感無量！「もうこれで下山してもいいね」



と言いつつ合いながら登って行きました。山田の頂上を過ぎて、イズモコバイモヤ、ミスミソウなどが可憐な花を咲かせていてまたまた撮影会です。ゆつくり11時30分頃山頂に到着。また山頂でもギフチョウが乱舞していて、すばらしい出来事でした。

頂上にてお弁当を食べて・・・



山頂パノラマを楽しみながらお弁当を頂き、記念写真を撮りました。この垂れ幕は登山参加者の中で最高齢の80歳の武田さん（大代出身）が書いて持参して下さったものです。

この日は好天に恵まれて近年になく多くのギフチョウが姿を見せてくれました。「今年は良い事あるかな？」と話しながら下山しました。参加された皆さんお疲れさまでした。



ようしく  
お願い致します！

▼ 新年度人事・役員交替（敬称略）

▼ まちづくりセンター

センター長	下市	佐藤哲朗
職員	上市	横田美恵子
職員	椿	権原敏子

▼ 自治会連合会（一自治会のみ）

柿田自治会 谷口俊二

▼ 寿会

会長	本郷	日向良
副会長	八反田	高村貢
副会長	下谷	船木佐津江

関西高山会総会出席者募集！

六月九日（日）

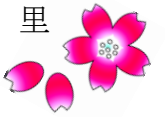
申し込みはまちづくり

センターまで

お早めに申し込み下さい。



# 山邊神社の枝垂桜



久手町刺鹿 原田萬里  
初蕨ふる里の味山の味 萬里 詠

飯谷バス停留所付近から、この時季に大江高山を眺めると、その中腹に大きな番傘を広げたような白いもの、それが昔の先人が植えた記念の枝垂桜です。

平成元年の春、私が教職を終り氏神様へのお礼と感謝の心を捧げる為に、妻と二人で参詣しました。天を覆うばかりの白い枝垂桜に圧倒されて近寄ると、幹の部分は枯死に等しく、皮の部分だけで生きてるように感じました。妻はその幹に手を添えて「よくも生きて私共に感動を与えてくれました。これからも永く生きてくれよ」と言っ

て暫しそこに佇み、動くのを忘れたかのように見えました。私は妻の母性愛をそこに見たのです。  
この桜も早晚命が消えることを想い、次代の桜を植えることを痛切に感じ、同窓生に語り満腹の賛同を得ましたので、早速、タキイに平安枝垂桜の苗二

本を手配してその到着を待ち、時季を見、同窓生の集合を得て、山邊神社の石段の両脇に植樹をしました。

福光石の標柱も建て、名板も作り、拜殿に掲げ二代目の枝垂桜は地域の人に守り育てられています。感謝・感動。

地元の同窓生の植樹場所の選定、逞しい器具の使い方等々、私は全く無力で呆然と眺めているだけでした。

同窓生の叡智とまとまりのよさに只感謝するだけです。平安枝垂れ桜がやがて天を覆うような花を咲かせてくれることを信じて終筆と致します。

## 俳句

### あすなる句会

雨降りて 炬燵ふさぎを のぼしけり 柿田 横手いちえ  
雀の子 朝の庭にて 囀りぬ 八反田 森 信子  
朝夕に 心癒せり 庭椿  
友の来て 山葵の花を こぼしけり 椿 花田時子  
久々の 大阪城の 花嵐 牡丹咲く 三十五年の 時空こえて 下市 今田文字  
春彼岸 句の師は浄土へ 旅立たれ 花散るや 病に勝てず 妹逝けり

川上 岩田律枝  
亡き夫の 挿し木の椿 花付けり  
親娘旅 ホテルの空の 花曇 本郷 和田貴和子

庭に立ち 四月の空気 胸いつぱい  
苗物を 畑に植へる 用意かな 椿 柿丸寿枝

住み古りて 終となる地や 落椿  
鄙ひなの宿 瀬音風音 春深し

## ★大代地区社協より

川上 渡井廣志様から

香典返しにかえ御厚志を頂きました。厚くお礼申し上げます。



## 5月行事予定



- \* \* \* \* \*
- \* \* \* \* \*
- \* \* \* \* \*
- \* \* \* \* \*
- ▼ 12日 (日) 福祉弁当
- ▼ 19日 (日) 婦人会支部長会
- ▼ 21日 (火) さくららんぼ教室  
「ちよこつと体操」 10時
- ▼ 23日 (木) 連合自治会
- ▼ 26日 (日) 婦人会日帰り旅行